



救急医療週間特集!!

「救急の日」の9月9日を含む9月3日～9日は「救急医療週間」です。2022年度の救命救急センターの診療実績について、救命救急センター長に聞きました。



救命救急センター長
不動寺 純明

当院では地域柄、救急外来を独歩で来院される軽症患者さまから救急車やドクターヘリで搬送される重症患者さままで、救急外来を受診される全ての救急患者さまの救急診療に対応しています。

昨年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の救命救急センターの診療実績は以下のとおりです。

受診者数 22,260人(2021年度 21,236人)

救急車搬送件数 4,430件(3,939件)

ヘリ搬送件数 75件(78件)

2022年度は新型コロナによる外出制限が緩和され、南房総にも旅行者が増え、さらに8月頃は新型コロナ第7波と言われ、これまでで最大数の感染者がでた時期でもありました。重症者の割合は少なかったものの、高齢者を中心に食事が取れないなどの理由で入院する方が多く、県内でも入院ベッドが切迫しました。この

ような理由で救急受診者数が増えたと思われます。

また、救急車の受け入れ要請に対して当院が応需できなかった不応需件数は521件、10.52%(220件、5.3%)でした。新型コロナの影響もあり、「ベッド満床」がお断りする原因の半数を占めました。

現在、日中は救命救急科の専従医2、3名、研修医2名体制で多くの救急患者さまの対応をしています。緊急性が高い患者さまを優先に治療させてもらっています。待ち時間が長くなることもありますが、ご協力をお願いいたします。

そのほか、救命救急センターでは多くの診療科の協力のもと、救急医療の提供を行っています。診療科によっては医師不足により一部診療体制を縮小せざるを得ない状況が発生しており、ご不便をおかけいたします。診療体制の立て直しに向けて病院をあげて全力で取り組んでいます。何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

地域医療連携交流会を開催



8月9日(水)午後6時半より地域医療連携交流会が亀田総合病院 Kタワー13階ホライゾンホールにて開催されました。

人口減少社会を迎えた日本では、高齢化の進展と共に人生の最期をどこで、どのように過ごすのか、意思決定の支援や本人の意思に基づく医療・介護の提供が重要性を増しています。

そこで、今回は「介護施設の看取り」をテーマに、介護老人保健施設の館山ケアセンター夢くらぶ、特別養護老人ホームのめぐみの里、ホームホスピスを提供するNPO法人フローラファミリーの3施設の取り組みについて、地域の医療・介護従事者など約100人が聴講し、理解を深めました。

bayfm「MEDICAL UPDATES」

FMラジオ局ベイエフエムの午後のワイド番組『it!!(イット)』では、毎週火曜日の午後3時から、当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」のコーナーが好評放送中です。9月は亀田IVFクリニック幕張から小宮顕医師が男性不妊症をテーマにお話する予定です。ぜひお聴きください。



クリニック
1階

ショップ マーラマ
リニューアル

営業時間
9:00～17:00
(日曜・祝日除く)

薬宅配や電話再診の手続き、
診療材料・ストーマ商品の販売
も行っていきます。





最終話 出生前検査の遺伝カウンセリング

出生前検査の目的は、お腹の中の赤ちゃんの状況を把握し、将来の予測をたて、その家族の将来設計に関わる情報提供を行い、意思決定を支援することです。

出生前検査によっては推奨時期に制限があるため、妊婦さんとパートナーは短期間で情報を集めて正しく検査について理解したうえで、受けるか受けないか、受ける場合はどの検査を受けるのか、検査後の対応も含めて選択しなければなりません。

そのため、遺伝カウンセリングでは専門の医師と認定遺伝カウンセラー[®]が最新の正確な情報を提供し、不安や心配事についてお話を聞き寄り添います。

初回の遺伝カウンセリング

出生前検査の説明

初回の遺伝カウンセリングは検査前(～妊娠10週頃)に受けることを推奨しています。約1時間かけて右表にあるような内容について話し合い、疑問や不安を解消します。この時点でどの検査を受けるか、受けないかを決める必要はなく、ご自宅に帰ってご家族で考える時間があります。その間に新しい疑問や不安が生じた場合には、何度でも遺伝カウンセリングをご利用ください。

その結果、検査は必要ないと感じたら、検査を受けずに、妊娠を継続していただくことになります。なにかしらの検査を受けると意思決定された場合に、検査を実際に受けることができます。

検査後の遺伝カウンセリング

結果の説明

出生前検査のうち、超音波マーカー検査と胎児形態超音波検査は当日結果が判ります。検査の担当医師か

ら説明があり、その後必要に応じて相談を行います。それ以外の検査は、結果がでるまで2～3週間程度かかるため、この期間中にご家族の間で結果によってどう対応するのか、どのような心情になるのかを想像して結果開示後の準備をしていただきます。

結果説明の遺伝カウンセリングでは結果とその解釈を説明します。また、非確定的検査でなんらかの疾患が疑われた場合には、その後確定的検査に進むかどうか、場合によっては妊娠の継続に関わる相談まで行います。早め早めにご家族で先を見据えた話し合いをすることをおすすめします。

どのような選択をされても 最善のサポートを提供します

繰り返しになりますが、どうするのか最終的に決めるのは妊婦さんとパートナーです。遺伝カウンセリングでは、妊婦さんとパートナーが納得のいく選択ができるように支援します。産む/産まないどちらの選択をしても、私たちは最善のサポートを提供します。妊娠・出産に携わる専門家は助産師、看護師、医師そして遺伝カウンセラーなどたくさんいますので、一人で不安や疑問を抱え込まずに、どうぞ私たちにご相談ください。



遺伝カウンセリングでの主な内容

染色体と染色体異常について	各検査の特徴とメリット・デメリット
倫理的問題	出生前検査の種類
検査結果の解釈の仕方とその後の対応について	カップルが直面している(する)心理的負担・不安への支援など

次回から2回に分けて災害医療についてご紹介します。

医師紹介

なかむら ゆうた 医師
中村 祐太

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①集中治療科
- ②救急医療
- ③グルメ探索、スノーボード、テニス
- ④みなさまに信頼され、心ある医療を提供したいと思っています。



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <https://www.kameda.com>